



ほほえみだより

笑顔いっぱい 生き生き
今日も来てよかった治田東の子ども

栗東市立治田東小学校

学校評価
結果とまとめ号

令和7年3月14日

1. 学校評価の概観

本校の学校評価においては、児童・保護者を対象に下記の項目に対して「よくあてはまる」「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」「まったくあてはまらない」の4段階で回答を求める「4件法」を採用しています。そのうち、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の割合を合わせた「積極的評価割合」(%)を算出し、比較分析の指標としています。なお、地域住民アンケートでは、民生委員・児童委員および学校協議会委員の方々を対象にしています。

(1) 児童アンケート結果

No	評価項目	R5	R6	前年比
1	学校は、楽しいですか。	91.3	90.2	-1.1
2	授業は、わかりやすいですか。	88.9	85.5	-3.4
3	学校の先生は、話しやすいですか。	92.6	89.7	-2.9
4	自分には、よいところがあると思いますか。		84.1	新規
5	人の役にたつ人間になりたいと思いますか。	93.4	93.5	0.1
6	家で、宿題などの勉強をしていますか。	88.4	86.1	-2.3
7	すぐにあきらめずに、ねばり強く学習したり、練習したりしていますか。	81.8	80.5	-1.3
8	クロームブックを使った学習は、「楽しい。」「ためになる。」と思いますか。		90.8	新規
9	いのちや人の気持ちを大切にしようとしていますか。		97.0	新規
10	友だちの気持ちを考えた言葉づかいができていますか。	88.4	89.6	1.2
11	人が困っているときは、進んで助けますか。	89.7	92.0	2.3
12	自分からあいさつをしていますか。	79.2	83.7	4.5
13	自分から「ありがとう」が言えていますか。	94.0	94.7	0.7
14	学校や社会のルールを守っていますか。	93.2	91.8	-1.4
15	早ね・早起き・朝ごはんを意識した生活ができていますか。	78.2	76.0	-2.2

(2) 保護者アンケート結果 (回答率 65.9%)

No	評価項目	R5	R6	前年比
1	楽しく学校に通っていますか。	89.9	93.8	3.9
2	登下校の安全に気をつけていますか。	86.0	95.7	9.7
3	家庭で宿題等の学習をしていますか。	91.2	92.4	1.2
4	すぐにあきらめずに、ねばり強く学習したり練習したりしていますか。	61.8	67.3	5.5
5	長期休業中などに進んでクロームブックを活用していますか。		69.8	新規
6	いのちや人の気持ちを大切にしようとしていますか。		94.7	新規
7	相手の気持ちを考えた行動や言葉づかいができていますか。	80.3	81.8	1.5
8	人が困っていたら、進んで助けていますか。		92.9	新規
9	自分からあいさつをしていますか。	76.4	76.6	0.2
10	「ありがとう」が言えていますか。	93.4	91.4	-2.0
11	学校や社会のルールを守っていますか。	95.6	95.3	-0.3
12	早ね・早起き・朝ごはんを意識した生活ができていますか。	79.9	83.3	3.4
13	本校は、子ども一人ひとりのよさを大切にしようとしていますか。		87.8	新規
14	本校は、通信等で学校の様子をわかりやすく伝えていきますか。	85.0	88.5	3.5

(3) 地域アンケート結果 (26 回答)

No	評価項目	R5	R6	前年比
1	本校の児童は、登下校の安全に気をつけていますか。	94.3	96.2	1.9
2	本校の児童は、友だちと仲良く遊んでいますか。	85.0	96.0	11.0
3	本校の児童は、あいさつができていますか。	75.0	80.0	5.0
4	本校の職員の電話や来校時の対応は、適切ですか。	94.4	100.0	5.6
5	本校は、通信等で学校の様子をわかりやすく伝えてありますか。	94.4	100.0	5.6

2. 結果の比較分析

今年度の取組の成果と課題を浮き彫りにするために、「単純集計」で求めた「積極的評価割合」の高低を基に上位3項目、下位3項目を抽出し、また「積極的評価割合」の前年度からの増減変化を基に上位3項目、下位3項目を抽出すると、以下の通りとなりました。

(1) 児童アンケート

① 「積極的評価割合」の高低による成果と課題

項目	%	
16 いのちや人の気持ちを大切にしようとしていますか。	97.0	成果
8 「ありがとう」が言えていますか。	94.7	
15 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	93.5	
7 自分からあいさつをしていますか。	83.7	課題
4 すぐにあきらめずに、ねばり強く学習したり、練習したりしていますか。	80.5	
13 早寝・早起き・朝ごはんを意識した生活ができていますか。	76.0	

「いのちや人の気持ちを大切にしようとしている」「『ありがとう』が言えている」「人の役に立つ人間になりたい」の3項目が「積極的評価割合」比較で上位3位に入り、子どもたちが意識してがんばった成果を感じ取ることができます。

一方、「早寝・早起き・朝ごはんを意識した生活ができていない」「すぐにあきらめずに、ねばり強く学習したり、練習したりしていない」「自分からあいさつをしていない」の3項目が下位3位となり、子どもたちが比較的「できていない」と感じている項目であると同時に、今後の指導・支援の必要性を示す課題と言えます。

② 「前年比」の高低による成果と課題

項目	変化	
7 自分からあいさつをしていますか。	4.5	成果
10 人が困っているときは、進んで助けますか。	2.3	
9 友だちの気持ちを考えた言葉づかいができていますか。	1.2	
5 家で、宿題などの勉強をしていますか。	-2.3	課題
2 学校の先生は、話しやすいですか。	-2.9	
3 授業は、わかりやすいですか。	-3.4	

「自分からあいさつをしている」「人が困っているときは、進んで助ける」「友だちの気持ちを考えた言葉づかいができていない」の3項目が、前年と比べて伸びが見られた項目となり、特に「自分からあいさつをしている」は4.5ポイントの伸びを見せ、委員会等の取組の成果と考えられます。

一方、「授業は、わかりやすい」「学校の先生は、話しやすい」「家で、宿題などの勉強をしている」の3項目が前年と比べて減退した項目となり、学習面についての取組の方法や児童との関係づくりについて再検討や改善が必要と思われます。

(2) 保護者アンケート

① 「積極的評価割合」の高低による成果と課題

	項目	%	
11	お子さんは、登下校の約束を守り、安全に気をつけていますか。	95.7	成果
16	お子さんは、いのちや人の気持ちを大切にしようとしていますか。	94.7	
1	お子さんは、楽しく学校に通っていますか。	93.8	
7	お子さんは、自分からあいさつをしていますか。	76.6	課題
13	お子さんは、長期休業中などに進んでクロームブックを活用していますか。	69.8	
4	お子さんは、わからないことやできないことがある時、すぐにあきらめずにねばり強く学習したり練習したりしていますか。	67.3	

「登下校の約束を守り、安全に気をつけている」「いのちや人の気持ちを大切にしようとしている」「楽しく学校に通っている」の3項目が「積極的評価割合」比較で上位3位に入り、保護者から見た子どものがんばりの評価と言えます。一方、「わからないことやできないことがある時、すぐにあきらめずにねばり強く学習したり練習したりしている」「長期休業中などに進んでクロームブックを活用している」「じぶんからあいさつをしている」の3項目が下位3位に入り、保護者が子どもに改善を求められている課題と言えます。

② 「前年比」の高低による成果と課題

	項目	変化	
11	お子さんは、登下校の約束を守り、安全に気をつけていますか。	9.7	成果
4	お子さんは、わからないことやできないことがある時、すぐにあきらめずにねばり強く学習したり練習したりしていますか。	5.5	
1	お子さんは、楽しく学校に通っていますか。	3.9	
7	お子さんは、自分からあいさつをしていますか。	0.2	課題
12	お子さんは、学校や社会のルールを守っていますか。	-0.3	
8	お子さんは、「ありがとう」が言えていますか。	-2.0	

「登下校の約束を守り、安全に気をつけている」「わからないことやできないことがある時、すぐにあきらめずにねばり強く学習したり練習したりしている」「楽しく学校に通っている」の3項目が前年と比べて伸びが大きかった項目となり、特に「登下校の約束を守り、安全に気をつけている」は9.7ポイントの伸びを見せ、各家庭での言葉かけや学校での安全指導に加えて、地域の方の見守りのおかげであると言えます。一方、下位3項目中の「『ありがとう』が言えている」「学校や社会のルールを守っている」「自分からあいさつをしている」は減少しており、今後、各家庭での言葉かけや取組の方法について検討が必要と思われる。

3. 結果の考察と今後に向けて

(1) 結果の考察

「すぐにあきらめずに、ねばり強く学習したり、練習したりしている」については、前年比で保護者は5.5%伸びを見せる一方で、児童は1.3%の減退となり、異なる結果となりました。さらに、児童が80.5%ですが、保護者は67.3%と差があり、意識に差があることが分かりました。クロームブック活用が「楽しい」「ためになる」と考えている児童は、90.8%に対して「家で活用できている」と思っている保護者は69.8%と差が大きい結果となりました。いのちや人の気持ちを大切にしようとしているの項目は、児童・保護者共に上位の結果となり、家庭で意識していただいている成果であり、学校でも集団生活で重要であると捉えている指導の成果が表れていると言えます。「自分からあいさつをしている」

の項目は、児童・保護者共に下位の結果となりましたが、児童は前年より4.5%の伸びを見せています。一方、保護者は0.2%の伸びに留まり、差があることが分かります。今後の家庭と学校での改善に向けた意識や取組による効果が期待できます。

(2) 今後に向けた改善課題

以上の考察から、次年度に向けた本校の課題は以下4点であると考えられます。今後、各担当部会で次年度に向けた改善策について、検討を進めます。

	課題	担当部会
1	「学校が楽しい」と感じる子どもを増やす。	仲間づくり部
2	自分からあいさつができる子どもを増やす。	生活づくり部
3	助け合い、仲よくできる子どもを増やす。	心づくり部
4	「授業が分かりやすい」と感じる子どもを増やす。	学びづくり部

4. 意見・要望（自由記述）と今後の対応に向けて

今回、保護者から寄せられたご意見・提案の中から今後の対応を要する主な項目は以下の通りです。

	意見・提案(抜粋)	今後の対応
指導・行事について	もっと子どもの声を聞いて頂ける機会を増やしてもらえたら大変有難いです。	普段から子どもたちとの関わりを大切にしていけることはもちろんのこと、年に2回設定している「先生と話そう週間」を活用して個々の思いを受け止めていけるよう努めます。担任だけでなく、全教職員で子どもたちとの積極的な関わりを意識して、丁寧に対応していきたいと思えます。
	大人も子どもも相手を傷つけない、乱暴な言葉遣いをしないような関わり方を意識してもらえたらいいなと思えます。	
	各教科のノートを学校で販売して頂きたい。	学年始めや教科により、学校で統一して1冊目は購入しております。個人により使う量が違い、集金業務の煩雑さによるトラブル回避のため、2冊目からは各家庭で同様のノートの購入をお願いしております。各学年、教科で使用する「ノート使用一覧」をお知らせしておりますので参考にしてください。
	漢字検定を受けさせてほしい。	超過勤務の解消を求める県や市の方針もあり、実施は困難と考えます。
	参観日を増やしてほしい。	行事を参観としている月があるため、増やすことが難しいと考えます。学年ごとに保護者に参観してもらえる機会をつくるよう検討していきます。
	運動会を丸一日してほしい。	子どもたちの体力や熱中症予防への配慮も求められることから慎重に判断します。
連絡について	来月の予定をもう少し早めに配布いただけるとありがたい。	行事が決定次第、できるだけ早くメール配信でお知らせしていきます。
	メールでのお便りはエコでいいと思えます。しかし、まだ紙で配付される時もあり、子どもがしっかりと渡さない事もあるので、大事なお便りはメールでも配信してもらえれば助かります。	今後、各種お知らせ文書や学校だよりのメール配信をさらに進めます。大事な文書配付時はメール配信でもお知らせしますので、各家庭でもご確認をお願いします。

他に、「子どもの良いところを認めつつ、不安なところやつまずきに迅速に配慮していただき、親子ともども安心して1年を過ごすことができました。」「週予定表にクラスの様子が見える写真を載せてくださり、それを見ながら家族で会話できるのでありがたいです。」など、温かい励ましのお言葉も多くいただきました。今後も子どもたちの力をさらに伸ばせるよう児童理解に努め、保護者の方と信頼関係を深めていけるように意識してまいります。